



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社チヨダ 上場取引所 東  
 コード番号 8185 URL http://www.chiyodagr.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 町野 雅俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 今田 至 TEL 03-5335-4134  
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	48,089	3.9	927	—	1,070	—	830	—
2023年2月期第2四半期	46,268	3.7	△832	—	△714	—	△1,075	—

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 714百万円(—%) 2023年2月期第2四半期 △1,263百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	23.65	23.58
2023年2月期第2四半期	△30.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	83,727	51,575	60.0	1,428.88
2023年2月期	87,214	51,352	57.0	1,417.44

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 50,239百万円 2023年2月期 49,705百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2024年2月期	—	14.00			
2024年2月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,500	2.6	700	—	980	—	380	—	10.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	38,609,996株	2023年2月期	38,609,996株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	3,449,733株	2023年2月期	3,543,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	35,121,444株	2023年2月期2Q	35,061,613株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2024年2月期の個別業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,500	3.8	1,700	-	1,100	-	31.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
3. 補足情報	11
(1) 個別経営成績(累計)	11
(2) 個別財政状態	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや感染拡大防止に伴う行動制限が解除されたことにより、個人消費の回復やインバウンド需要の増加など、緩やかな景気回復基調となりました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する靴・衣料品小売業界では、行動制限の解除による外出機会の増加など、経済活動の再開が期待される一方で、物価上昇の影響による消費者マインドの低下が懸念されております。

このような状況下、当社グループは、専門店ならではの視点で日常の便利さを追求し、お客様の生活やニーズに合わせた様々な商品提案を行い、広告手法の見直しを行う事で売上の回復に努めてまいりました。

また、在庫の削減や、不採算店舗の閉店遂行、人事効率の改善などに取り組み、利益確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高48,089百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益927百万円(前年同期は営業損失832百万円)、経常利益1,070百万円(前年同期は経常損失714百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益830百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,075百万円)となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

#### <靴事業>

靴事業におきましては、靴専門店としてのサービス向上と商品提案力の強化をテーマとして、顧客満足度の向上や重点商品の販売強化、在庫鮮度の改善に取り組み、また客層拡大のため、デジタルマーケティングの推進や販売チャネルの拡大にも取り組んでまいりました。

商品面では、平年を上回る高い気温の影響でサンダルが好調だったほか、主力プライベートブランド「セダークレスト」のソフトな素材と屈曲性にこだわった「ストレッチビジネスシューズ」や、防水・透湿「ユーティリティスニーカー」、立ったまま手を使わずに履ける「スパットシューズ」など、消費者の使い勝手を考慮した、靴専門店ならではの商品の販売が好調でした。また、主力プライベートブランド「フワラク」から発売した「スニーカーパンプス」は、オンオフ兼用で快適に使用できる機能性や履き心地を備えつつ、ペットボトルのリサイクルポリエステル糸を原材料に使用するなど、サステナブルな商品提案も行ってまいりました。

EC販売では、自社ECサイト「kutsu.com」の品揃え充実を図るとともに、新規顧客獲得のため、積極的なWEBプロモーションを実施してまいりました。

販売促進では、折り込みチラシに代えてテレビCMやWEBを活用した販促を強化し、また、自社アプリ会員向けのポイント増量キャンペーンを実施する事で会員獲得を図るなど、デジタルマーケティングを推進する事で新たな客層の開拓に努めました。

出退店につきましては、7店舗を出店、20店舗を閉店し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は908店舗(前連結会計年度末比13店舗減)となりました。

経費につきましては、広告宣伝の強化や、キャッシュレス化の進行に伴う決済手数料の増加などにより、前年よりも増加した項目はありましたが、人事効率の改善や管理費の抑制を行い、販売費及び一般管理費は前年同期比1.3%減となりました。

以上の結果、靴事業の売上高は39,948百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は1,314百万円(前年同期は営業損失502百万円)となりました。

#### <衣料品事業>

衣料品事業におきましては、「暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて地域社会に貢献します。」という企業理念のもと、お客様の生活に密着したライフスタイル提案を行ってまいりました。

商品面では、適正在庫への見直しを目的とした滞留商品の処分を進めつつ、地域性、立地特性ごとのお客様ニーズを分析することで品揃えの最適化を図り、競争力強化を目指しました。また、営業利益確保を優先する為、不採算店舗の閉鎖、抜本的な本部構造改革による徹底したコストの圧縮などを行う一方、収益性の高い既存事業の強化を行うなど、収益構造の変革を推進しました。

出退店につきましては、5店舗を出店、28店舗を閉店し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は297店舗（前連結会計年度末比23店舗減）となりました。

経費につきましては、一般管理費の抑制、及び退店による固定費の削減により、販売費及び一般管理費は前年同期比7.3%減となりました。

以上の結果、衣料品事業の売上高は8,140百万円（前年同期比9.4%減）、営業損失は392百万円（前年同期は営業損失335百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、83,727百万円（前連結会計年度末比3,487百万円減）となりました。

流動資産は、55,785百万円（前連結会計年度末比3,289百万円減）となっております。これは、主として現金及び預金が23,170百万円（前連結会計年度末比2,728百万円減）、商品が26,810百万円（同1,355百万円減）、売掛金が3,658百万円（同768百万円増）、となったことによるものであります。

固定資産は、27,942百万円（前連結会計年度末比197百万円減）となっております。これは、主として投資有価証券が1,835百万円（前連結会計年度末比404百万円増）、敷金及び保証金が9,503百万円（同302百万円減）、繰延税金資産が3,862百万円（同17百万円減）となったことによるものであります。

### （負債の状況）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、32,151百万円（前連結会計年度末比3,710百万円減）となりました。

流動負債は、19,852百万円（前連結会計年度末比3,717百万円減）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が3,194百万円（前連結会計年度末比518百万円減）、電子記録債務が12,207百万円（同3,178百万円減）、未払法人税等が430百万円（同110百万円減）となったことによるものであります。

固定負債は、12,299百万円（前連結会計年度末比7百万円増）となっております。これは、主としてリース債務が804百万円（前連結会計年度末比81百万円減）、資産除去債務が2,102百万円（同48百万円減）、退職給付に係る負債が8,681百万円（同167百万円増）となったことによるものであります。

### （純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、51,575百万円（前連結会計年度末比223百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が42,648百万円（前連結会計年度末比272百万円増）、新株予約権が19百万円（同118百万円減）となったことによるものであります。自己資本比率は60.0%（前連結会計年度末比3.0ポイント増）となっております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日付（2023年2月期決算短信）で公表致しました2024年2月期の連結業績予想に変更はありません。

但し、原材料やエネルギー価格の高騰、円安の進行、ウクライナ情勢、新型コロナウイルス感染再拡大への警戒感に加え、物価上昇による消費マインドの低下など、当社グループ業績への影響が懸念されており、先行き不透明な状況は続くものと思われまます。また、テレワークの普及を始めとしたアフターコロナに見られる社会活動の変容は、消費者の購買行動の変化へと繋がる為、今後、新たな対応が求められてきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,898	23,170
売掛金	2,890	3,658
商品	28,166	26,810
その他	2,124	2,151
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	59,075	55,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,516	1,542
工具、器具及び備品（純額）	290	272
土地	4,144	4,144
リース資産（純額）	183	169
その他（純額）	17	0
有形固定資産合計	6,152	6,128
無形固定資産	5,110	4,941
投資その他の資産		
投資有価証券	1,431	1,835
敷金及び保証金	9,806	9,503
繰延税金資産	3,880	3,862
その他	1,762	1,673
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	16,876	16,871
固定資産合計	28,139	27,942
資産合計	87,214	83,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,713	3,194
電子記録債務	15,385	12,207
ファクタリング債務	16	10
リース債務	273	240
未払法人税等	541	430
未払消費税等	192	711
契約負債	11	49
賞与引当金	320	347
店舗閉鎖損失引当金	16	18
リース資産減損勘定	9	9
資産除去債務	66	96
その他	3,021	2,534
流動負債合計	23,569	19,852
固定負債		
リース債務	885	804
繰延税金負債	28	41
退職給付に係る負債	8,514	8,681
役員退職慰労引当金	7	8
転貸損失引当金	65	53
長期預り保証金	519	500
長期リース資産減損勘定	27	22
資産除去債務	2,151	2,102
その他	93	83
固定負債合計	12,292	12,299
負債合計	35,861	32,151



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	42,375	42,648
自己株式	△7,015	△6,829
株主資本合計	49,743	50,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△7
繰延ヘッジ損益	△31	37
退職給付に係る調整累計額	10	8
その他の包括利益累計額合計	△38	38
新株予約権	137	19
非支配株主持分	1,510	1,317
純資産合計	51,352	51,575
負債純資産合計	87,214	83,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	46,268	48,089
売上原価	24,764	25,396
売上総利益	21,503	22,692
販売費及び一般管理費	22,336	21,764
営業利益又は営業損失(△)	△832	927
営業外収益		
受取利息	4	20
受取配当金	1	2
受取家賃	359	323
その他	137	98
営業外収益合計	502	444
営業外費用		
支払利息	4	4
不動産賃貸費用	292	264
その他	87	33
営業外費用合計	384	301
経常利益又は経常損失(△)	△714	1,070
特別利益		
固定資産売却益	2	1
違約金収入	-	1
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除却損	5	4
減損損失	345	126
店舗閉鎖損失	5	3
店舗閉鎖損失引当金繰入額	23	18
リース解約損	-	10
特別損失合計	379	163
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,091	910
法人税、住民税及び事業税	218	278
法人税等調整額	△31	△4
法人税等合計	186	273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,277	636
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△202	△194
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,075	830

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,277	636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	9
繰延ヘッジ損益	△1	69
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	14	77
四半期包括利益	△1,263	714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,062	907
非支配株主に係る四半期包括利益	△200	△193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△1,091	910
減価償却費	436	418
減損損失	345	126
賃借料との相殺による保証金返還額	78	60
固定資産売却損益(△は益)	△2	△1
固定資産除却損	5	4
店舗閉鎖損失	5	3
違約金収入	-	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	165
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	1
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△13	△11
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	16	1
受取利息及び受取配当金	△6	△22
支払利息	4	4
売上債権の増減額(△は増加)	△1,161	△768
棚卸資産の増減額(△は増加)	△722	1,355
仕入債務の増減額(△は減少)	△770	△3,668
未払費用の増減額(△は減少)	301	217
未払消費税等の増減額(△は減少)	297	518
リース解約損	-	10
その他	17	△584
小計	△2,284	△1,232
利息及び配当金の受取額	3	15
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△297	△303
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,582	△1,524

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	300
有形固定資産の取得による支出	△227	△261
有形固定資産の売却による収入	4	1
有形固定資産の除却による支出	△30	△114
無形固定資産の取得による支出	△238	△37
無形固定資産の除却による収入	4	15
無形固定資産の除却による支出	△3	△0
投資有価証券の取得による支出	-	△701
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	300
投資事業組合からの分配による収入	8	3
敷金及び保証金の差入による支出	△64	△24
敷金及び保証金の回収による収入	243	235
その他	△6	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△309	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△225	△144
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△513	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△738	△617
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,631	△2,450
現金及び現金同等物の期首残高	31,970	25,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,339	22,780

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 補足情報

2024年2月期第2四半期の個別業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	39,945	7.1	1,126	—	1,305	—	1,052	—
2023年2月期第2四半期	37,286	4.0	△547	—	△368	—	△680	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	29.97	29.88
2023年2月期第2四半期	△19.42	—

(注) 2023年2月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	75,444	48,715	64.5
2023年2月期	76,743	48,145	62.6

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。